

クリスマスイベント

あさなぎ病院でクリスマスイベントが23日に行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で面会も制限されている中、入院患者様に少しでもクリスマス気分を味わってもらいたいと企画しました。スタッフはトナカイやサンタに変装し、手作りのクリスマスカードとお菓子のプレゼントを持って病棟を回りました。「メリークリスマス」と声をかけ突然現れたサンタさん、ツリーさん、トナカイさんにビックリされた患者様も！(笑)コロナ禍で縮小されたイベントとなりましたが、皆様楽しんで頂けたクリスマスになったのではないのでしょうか。これからも安心して入院生活を送って頂き、またひと時でも心癒される時間を過ごしてもらえるようにイベントを企画していきたいと思ひます。

(病棟副部長 窪田 ますみ)



検査室からこんにちは！

検査室では、「臨床検査技師」が仕事をしています。最近ではコロナウイルスのPCR検査がNewsなどで取り上げられ、少し知名度がupしたような感じがしますがいかがでしょうか？では、当院ではどのような検査をしているか紹介させていただきます。

- ① 検体検査→採血された血液や尿、便検体を分析し、早いもので30分程度で報告できるよう対応しています。
- ② 輸血検査→血液型、輸血の交差試験など。
- ③ 生理機能検査→心電図、超音波、肺機能、ABI(動脈硬化の検査) SPP(末梢血管の動脈硬化の検査)、DPNチェック(神経伝達速度)など。

皆様もいくつかの検査を経験されているのではないのでしょうか。特に、生理機能検査では時間がかかったり、痛みを伴うものもあり、辛い思いをされた方もいらっしゃると思います。しかし、私たちは正確な結果を出すために、患者様の協力のもとに頑張っております。疑問に思うことや、興味が湧いたことなどあればお気軽にお尋ねください。笑顔でお答えいたします。

(検査科 谷本 貴代)

透析看護認定看護師より

腎臓の機能が低下し、その役割を果たすことができなくなると末期腎不全と呼ばれる生命の危機に見舞われてしまいます。原因として糖尿病、高血圧などの生活習慣病を背景因子とする慢性腎臓病や慢性腎炎などがあげられます。「腎臓が悪いと言われた」「透析とはどのような治療か？」等の不安や悩みを抱えていらっしゃる方々に病氣と向き合うコツや情報の提供を行い、不安を少なく生活できるようにサポートさせていただきたいと考えています。また患者様の「このように生きたい」との思いを大切に相談に乗らせていただきます。当院には、1名の透析看護認定看護師がいます。お気軽にお声がけください。

(透析センター 草山 ひろみ)

A S A N A G I 瓦版

◇お知らせ◇

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、1月12日現在、面会を禁止させて頂いております。ご不便をお掛けしますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。
- ・湿度を保ち、こまめにうがい・手洗いやマスク着用を励行してインフルエンザやその他のウイルス感染症に気をつけましょう！

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから2年が経ちました。日本でも東京オリンピック・パラリンピックの頃からデルタ株による第5波が起こりコロナ病床が逼迫しました。その後感染者数は激減しましたが、今度はオミクロン株による第6波が懸念されている最中、富山県内でも先月オミクロン株による感染者が見つかっております。我が国では2021年12月30日時点で感染者数1,727,063人、死者数18,381人と死亡率が1%強、透析患者さんにおかれましては12月23日時点で感染者数2,676人、死者数423人と死亡率が15%強と桁違いです。

一方、富山県では透析患者さんに昨年11月までで3人の感染が確認されましたが、皆さん回復されたようです。しかし、この感染症の収束が確認されるまでは、油断せずワクチン接種を含めた今まで通りの感染対策を続けましょう。

さて、今年は寅(虎)年です。虎は「強さ」、「権威」の象徴と考えられていますが、今回は壬寅(みずのえとら)で家族を大切にす優しい寅を表すとのこと。寅のような強さを持ち、患者さんに優しい医療が提供出来ればと考えております。本年もどうかよろしくお願ひ致します。

理事長 黒田 昌宏

こぎつねご飯

油揚げをきつねの耳のように三角に切ることから「こぎつねごはん」と言われているそうです。炊いたご飯に混ぜ込むだけで簡単に作れる一品です。

材 料 (4人分)

米2合		だし汁	適量
鶏ひき肉	60g	酒	大さじ1
油揚げ	40g	みりん	大さじ1
人参	1/3本(50g)	塩	小さじ1/3
むぎ枝豆(冷凍)	40g	しょうゆ	大さじ1
サラダ油	大さじ1/2		

【1人あたり】エネルギー：387kcal 塩分：1.2g

- ★作り方★
- 炊飯器で2合の米を普通に炊く。
 - 人参は細切りにする。
 - 油揚げを油抜きして2cm角に切り、三角になるように斜め半分に切る。
 - フライパンにサラダ油を入れて熱し、鶏ひき肉を入れて、肉の色が変わるまで中火で炒める。人参を加えてしんなりするまで炒める。
 - ④に油揚げ、むぎ枝豆、★を加えて水分を飛ばしながら炒める。
 - 炊いたご飯に⑤を加え混ぜる。
- ポイント
- ★枝豆の代わりに絹さや・さやえんどう等の緑の食材を使用すると彩がきれいです。
 - ★おろし生姜や千切り生姜、いりゴマを加えても美味しいです。

あさなぎ訪問看護ステーション

2021年11月、あさなぎ訪問看護ステーションが開業しました。当ステーションは、皆様が住み慣れた地域で安心できる在宅療養生活が送れるように支援したいという思いから始まりました。あさなぎ病院と連携し、透析利用者様への看護や生活習慣病の指導・フットケアに力を入れてケアを提供しています。またいつでも本人やご家族の連絡・相談に応じます。利用者様に良質な看護を提供するために知識や技術の向上を目指しています。あさなぎ病院の地域医療連携室を通して、入院中から退院後の生活に向けた関わりが円滑にできます。訪問看護に関して、また介護に関する悩みや心配事がございましたらお気軽にお尋ねください。

(看護師 澤井 真由美)

利用者、その家族との時間や場を共有し、価値観に触れ、揺れ動く思いや葛藤を知り、分かち合う機会を作り、病気や障害を持ちながら、その人らしく生きていく事・暮らしていく事・生活する事を支援させていただきたい！と思い、訪問看護に出掛れています。

(看護師 山本 優子)

病院在職中は、慣れない外来・病棟で優しく辛抱強く教えていただいたスタッフの皆様には、本当に感謝しています、ありがとうございました。これからは訪問看護師として、利用者様の生活の場で、出来るだけその方の健康レベルを維持できるようにサポートしていきます。今後も病院や地域と連携し、少しでもお役に立てたらと思います。どうぞお気軽にご相談なさってください。

(看護師 大書 典子)

この度、あさなぎ訪問看護ステーションがスタートできましたことを大変嬉しく思っております。私事ですが独り暮らしの母が訪問看護を利用していました。食事や薬の管理など身の回りのことが覚えなくなった時に、定期的に看護師に訪問してもらえることが、本人にも離れて暮らす家族にも大きな安心感となりました。現在、母は施設に入居していますが、会いに行くと家に帰りたいと言っています。やはり自分の家が一番なのだと思ひます。今後家に戻る際には、訪問看護を利用する予定です。

あさなぎ訪問看護ステーションでは、地域の皆様が住み慣れたご自宅で安心して過ごせるよう、看護師が定期的に訪問し、健康状態の観察や日常生活の看護を通してサポートに努めて参ります。まずは、お気軽にご相談くださいますようお願い致します。

(事務次長 荒谷 昌孝)



～お知らせ～
糖尿病教室の開催について
第6回 2月2日(水) 8:45～

～新任紹介～
(10月)
透析センター 野田 香(看護師)
(11月)
運転手 上田 幸代

～スタッフ募集～
現在、あさなぎ病院では、運転手を募集しております。お問い合わせは、総務課 長田までお願い致します。
☆電話番号 0766-22-5445

